

大西先生、謹んでご逝去を悼み、生前の温かいご指導に対し、あらためてお礼申し上げます。

先生には、北大で、学部4年生のゼミと卒業研究をご指導いただきました。当時4年生でしたので、研究どころか、まだ研究室がどんなところかさえもよくわかっていなかった時期でした。先生には、専門書の読み方や研究への取り組み方、発表の仕方など、物理の知識にとどまらず、研究で必要な様々なことを教えていただきました。

実は、その前にも、学部3年生のときには、先生が担当されていた物理学科の必修科目の量子力学を受講していました。先生の講義はとてもわかりやすく、物理学科の学生の間でも評判でした。その理由をお尋ねした際、学生時代の塾講師のアルバイトの経験が生きているとお話しされ、わかりやすく的確に伝えることの重要性を教えていただいたことを、今でも印象深く覚えています。

その後、先生が基研に移られたあとも、共同研究者としてハイパー核物理の議論をさせていただき、研究面でも様々なご指導やご助言をいただきました。

大西先生のこれまでのご指導に心より感謝し、安らかにご永眠されますようお祈りいたします。

井坂 政裕 (法政大学)